

1. 件名：「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設及び濃縮施設の安全性向上評価に係る面談」

2. 日時：令和5年11月1日（水） 10時00分～12時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、中野上席安全審査官、大岡主任安全審査官、野村主任安全審査官、藤原主任安全審査官、内海安全審査官、小野安全審査官、鈴木安全審査専門職、山口係員、横山原子力規制専門員

技術基盤グループ

システム安全研究部門

森上席技術研究調査官、山口副主任技術研究調査官

シビアアクシデント研究部門

高梨上席技術研究調査官、寺垣主任技術研究調査官、横塚副主任技術研究調査官

日本原燃株式会社

安全・品質本部 副本部長 他7名

三菱原子燃料株式会社

安全・品質保証部 部長 他2名

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

環境安全部 担当課長

原子燃料工業株式会社

東海事業所 環境安全部長

熊取事業所 安全管理グループ長 他2名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という。）から、令和5年6月29日の面談を踏まえ、再処理施設、MOX 施設及び濃縮施設における安全性向上評価の運用を見越した記載方針、リスク評価等の検討状況について、当日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から主に以下の点を伝えた。

・再処理施設及び MOX 施設のリスク評価については、全体計画、各タスクの位置づけ、スケジュール等を明確にした上で、面談においては各タスクの

具体的な検討状況、認識している課題、スケジュールへの影響等を説明すること。

- ・濃縮施設については、再処理施設及び MOX 施設の準備状況も参考のうえ、他のウラン加工事業者と情報を共有して連携を図り、運用開始に向けて計画的に進めること。その際、届出の準備作業において不明な点があれば、適時面談の実施を申し出ること。

(3) 日本原燃から、本日の面談を踏まえて対応する旨の回答があった。

6. その他

提出資料

「再処理施設および MOX 燃料加工施設における安全性向上評価の取組みについて」

「再処理施設および MOX 燃料加工施設に係るリスク評価の実施スケジュール(案)」

「ウラン濃縮加工施設の安全性向上評価の記載方針について」

参考

- ・令和5年6月29日 日本原燃(株)再処理施設及び MOX 施設の安全性向上評価に係る面談

<https://www2.nra.go.jp/data/000439633.pdf>